

## 山形県金融経済概況

### 1. 全体感

山形県の景気は、引き続き厳しい状態にあり、一部に新型コロナウイルス感染症再拡大の影響がみられるが、全体としては持ち直しの動きが続いている。

最終需要の動向をみると、公共投資は横ばい圏内で推移しているが、設備投資は前年を下回る動きとなっている。個人消費は全体としては持ち直しの動きが続いているが、サービス消費中心に厳しさを増している。住宅投資は弱めの動きとなっている。

こうした中、生産は持ち直しの動きが続いている。雇用・所得環境は弱めの動きが続いている。消費者物価（生鮮食品を除く総合）は前年を下回った。

### 2. 需要項目別の動向

#### (1) 公共投資・・・横ばい圏内で推移

1月の公共工事請負金額は、県や市町村の発注は増加したものの、国の発注が減少したため、前年を下回った（前年比▲1.8%）。

(図表1) 公共工事請負金額 前年比、%

	2020年 3月	6月	9月	2020年 11月	12月	2021年 1月
山形県	26.4	▲48.1	▲5.3	14.9	▲40.7	▲1.8

<資料>東日本建設業保証(株)

(注) pは速報値、rは前回公表から掲載計数を改訂したもの（以下同じ）。

#### (2) 設備投資・・・前年を下回る動き

12月の建築着工床面積（民間非居住用）は、農林水産業や製造業などは増加したものの、卸・小売や運輸などが減少したため、全体では前年を下回った（前年比▲6.7%）。

12月短観における2020年度の設備投資計画（全産業）は、非製造業で下方修正され、前年度を下回る計画となっている（前年度比▲4.3%）。

(図表2) 建築着工床面積（民間非居住用） 前年比、%

	2020年 3月	6月	9月	2020年 10月	11月	12月
山形県	▲6.1	26.7	▲18.7	▲3.8	40.3	▲6.7

<資料>国土交通省

(図表3) 県内企業の設備投資額（2020年12月山形短観） 前年度比、%

山形県	2018年度(実績)	2019年度(実績)	2020年度(計画)
全産業	3.2	▲22.6	▲4.3< ▲3.1>
製造業	▲9.0	▲27.1	▲3.3< 3.4>
非製造業	26.5	▲16.3	▲5.6< ▲10.1>

<資料>日本銀行山形事務所

< > 内は前回調査比修正率、%

(3) 個人消費・・・全体としては持ち直しの動きが続いているが、サービス消費中心に厳しさを増している

12月の百貨店・スーパー販売（全店ベース）は、飲食料品は前年を上回ったものの、衣料品等の減少から全体では前年を下回った（前年比▲3.0%）。コンビニエンスストアは、外出者などの減少から前年を下回った。ドラッグストア、ホームセンターは、衛生用品が好調なほか、巣ごもり需要の継続などから前年を上回った。

(図表4) 百貨店・スーパー販売 前年比、%

山形県	2020年 4～6月	7～9月	10～12月	2020年 10月	11月	12月
全店	▲3.7	▲5.3	▲1.3	0.7	▲1.0	▲3.0
既存店	1.4	▲1.0	3.0	4.9	4.5	0.3

〈資料〉経済産業省

1月の乗用車新車新規登録・届出台数は、前年を上回った（前年比9.7%）。

(図表5) 乗用車新車新規登録・届出台数 前年比、%

山形県	2020年 3月	6月	9月	2020年 11月	12月	2021年 1月
乗用車 合計	▲15.8	▲20.0	▲10.4	17.6	9.4	9.7
普通車	▲24.2	▲30.6	▲10.3	34.1	10.6	17.9
小型車	▲11.5	▲21.6	▲11.8	▲7.1	▲15.1	▲7.2
軽四輪	▲12.9	▲9.9	▲9.5	29.4	32.3	17.3

〈資料〉東北運輸局

この間、サービス消費は、新型コロナウイルス感染症再拡大の影響から、飲食・宿泊を中心に厳しさを増している。

(4) 住宅投資・・・弱めの動き

12月の新設住宅着工戸数は、持家、貸家、分譲とも減少し、全体では前年を下回った（前年比▲19.6%）。

(図表6) 新設住宅着工戸数 前年比、%

	2020年 3月	6月	9月	2020年 10月	11月	12月
山形県	▲19.5	▲42.6	▲23.6	19.8	▲20.8	▲19.6
持家	6.8	▲17.3	10.6	60.5	10.8	▲6.5
貸家	▲47.9	▲50.8	▲54.0	▲17.7	▲58.7	▲29.4
分譲	▲44.9	▲71.4	▲45.5	▲5.0	▲13.6	▲35.2

〈資料〉国土交通省

### 3. 生産・・・持ち直しの動きが続いている

11月の鉱工業生産指数（季節調整済）は、前月を下回った（前月比▲1.5%）。業種別には、化学や金属製品など11業種で上昇したものの、情報通信機械や食料品など10業種で低下した。11月の在庫指数（季節調整済）は、前月を上回った（前月比10.2%）。

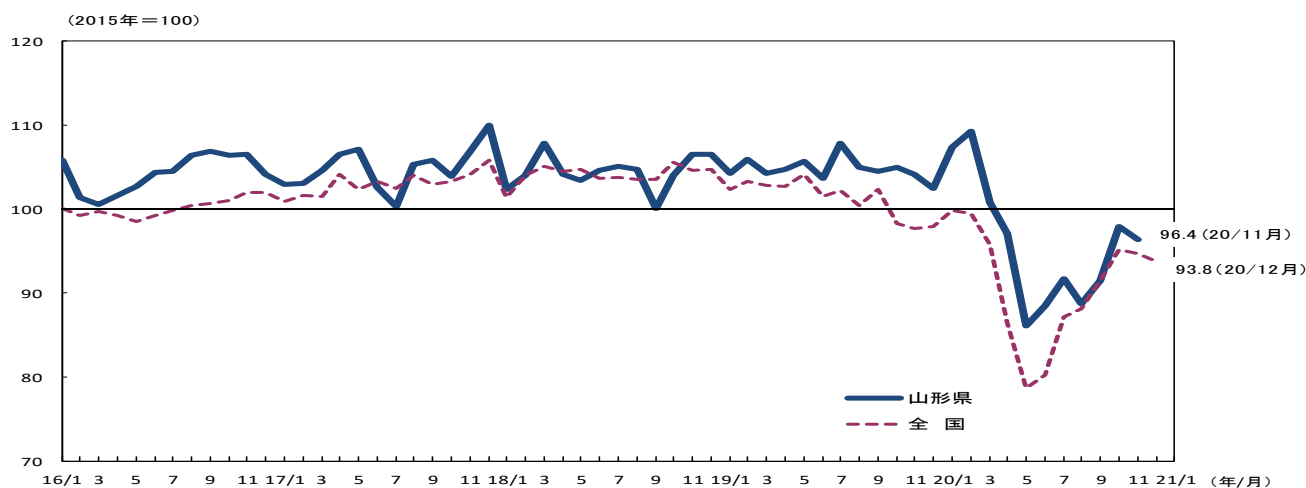
（図表7）鉱工業指数

2015年基準

山形県		2019年 12月	2020年 3月	6月	2020年 9月	10月	11月
生 産	季節調整済前月比%	▲1.6	▲7.8	2.8	3.2	7.0	p ▲1.5
	原指数前年比%	▲0.6	▲1.8	▲11.7	▲10.9	▲5.0	p ▲9.1
在 庫	季節調整済前月比%	0.2	8.1	5.0	1.6	2.8	p 10.2
	原指数前年比%	7.0	7.8	9.5	6.3	10.4	p 21.9

〈資料〉山形県

（図表8）鉱工業生産指数（季節調整済）の推移



〈資料〉経済産業省、山形県

### 4. 雇用・所得環境・・・弱めの動き

12月の有効求人倍率（季節調整値）は、1.10倍となった。業種別の新規求人数は、製造業や卸・小売、宿泊・飲食サービス、医療・福祉など多くの業種で減少した。12月の雇用保険受給者は、前年を上回った（前年比31.5%）。

（図表9）雇用関係指標（その1）

倍、%、〈〉内は前年比

山形県	2020年 4～6月	7～9月	10～12月	2020年 10月	11月	12月
有効求人倍率	1.06	1.03	1.10	1.05	1.06	1.10
完全失業率	2.4	2.3	n. a.	—	—	—
雇用保険受給者	〈20.6〉	〈33.3〉	〈31.5〉	〈32.9〉	〈36.3〉	〈31.5〉

〈資料〉厚生労働省、総務省、山形労働局

（注）有効求人倍率、雇用保険受給者の四半期データは、四半期末の水準。

11月の常用雇用指数は、前年を下回った（前年比▲1.2%）。業種別には、運輸・郵便やサービスなどが前年を上回ったが、製造業や宿泊・飲食サービス、医療・福祉などは前年を下回った。

11月の所定外労働時間は、前年を下回った（前年比▲5.3%）。業種別には、運輸・郵便などが前年を上回ったが、製造業や宿泊・飲食サービスなどは前年を下回った。

(図表 10) 雇用関係指標 (その 2) 2015 年基準、事業所規模 5 人以上、前年比、%

山形県	2019年 12月	2020年 3月	6月	2020年 9月	10月	11月
常用雇用指数	1.4	0.9	▲1.6	▲0.9	▲0.3	▲1.2
所定外労働時間	▲10.9	▲6.2	▲19.3	▲8.9	▲10.7	▲5.3

<資料>山形県

11月の現金給与総額（名目賃金指数）は、複合サービスなどは増加したものの、建設や生活関連サービス、製造業などが減少したため、前年を下回った（前年比▲1.8%）。

11月のきまって支給する給与は、前年を下回った（前年比▲3.3%）。

(図表 11) 所得関係指標 2015 年基準、事業所規模 5 人以上、前年比、%

山形県	2019年 12月	2020年 3月	6月	2020年 9月	10月	11月
現金給与総額 (名目賃金指数)	3.6	▲1.0	▲3.2	▲1.7	▲3.0	▲1.8
きまって支給 する給与	1.5	▲1.3	▲3.1	▲3.2	▲2.8	▲3.3

<資料> 山形県

## 5. 企業倒産・・・低水準で推移

1月の企業倒産（負債額 10 百万円以上）は、件数（7 件）、負債総額（4.7 億円）とも低水準（<前年同月>倒産件数 10 件、負債総額 43.6 億円）。

(図表 12) 企業倒産 件、億円

山形県	2020年 3月	6月	9月	2020年 11月	12月	2021年 1月
件数	1	2	1	3	3	7
負債総額	3.0	0.4	3.8	1.6	3.5	4.7

<資料>(株)東京商工リサーチ

## 6. 物価・・・前年を下回った

12月の消費者物価指数(山形市、生鮮食品を除く総合)は、エネルギー価格の下落などから、前年を下回った(前年比▲0.8%)。

(図表 13) 消費者物価指数

2015年基準、前年比、%

山形市	2020年 3月	6月	9月	2020年 10月	11月	12月
総合	0.1	▲0.5	0.1	▲0.4	▲0.8	▲1.0
生鮮食品を除く総合	▲0.1	▲0.6	▲0.5	▲0.7	▲0.9	▲0.8

<資料>山形県

## 7. 金融

12月の県内預金(銀行+信用金庫)は、前年を上回った(前年比8.9%)。また、12月の県内貸出(銀行+信用金庫)も、前年を上回った(前年比3.0%)。

この間、12月の貸出金利は前月から低下した(前月比▲0.013%ポイント)。

(図表 14) 預金、貸出金

%

山形県	2020年 3月	6月	9月	2020年 10月	11月	12月
実質預金+CD (未残前年比)	0.8	5.6	7.9	8.7	8.2	8.9
貸出金 (未残前年比)	▲1.6	2.2	3.9	4.6	3.9	3.0

<資料>日本銀行山形事務所

- (注)・国内銀行(ゆうちょ銀行を除く)、信用金庫の県内全店舗を集計。  
 ・銀行勘定(国内銀行についてはオフショア勘定を除く)を集計。  
 ・実質預金とは、表面預金から未決済の小切手・手形を引いたもの。  
 ・貸出金については、中央政府向け貸出を除く。  
 ・合併・新規出店、撤退等による残高調整は行っていない。

(図表 15) 貸出約定平均金利

%ポイント

山形県	2020年 4~6月	7~9月	10~12月	2020年 10月	11月	12月
貸出約定平均金利 (総合、ストックベース、月・期中変化幅)	▲0.022	▲0.013	▲0.019	▲0.005	▲0.001	▲0.013

12月末水準  
0.942%

<資料>日本銀行山形事務所

- (注)山形県内に本店を置く地銀・地銀Ⅱの貸出金利(銀行勘定の円貸出のうち、金融機関向け貸出を除いたもの)を貸出金残高(同)で加重平均したもの。

以上

(内容に関するお問い合わせ先)  
 日本銀行山形事務所  
 TEL: 023-622-4004